

2026 年 7 月 31 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：小児慢性腹痛患児における腹腔動脈血流速度の特徴と臨床症状との関係性について

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2025 年 2 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までに藤田医科大学病院小児外科受診に受診した患者で慢性腹痛に対し精査を受けた患者

2. 研究目的・方法・研究期間

小児の慢性腹痛は、小児消化器診療で日常的にみられる症状です。その原因には、炎症などの器質的疾患によるものと、検査では明らかな異常を認めない機能性腹痛関連疾患（Functional Abdominal Pain Disorders：FAPDs）によるものがあります。FAPDs は小児に比較的多くみられる疾患ですが、その発症の仕組みにはまだ不明な点が多く残されています。

近年では、慢性腹痛の原因の一つとして正中弓状靱帯圧迫症候群（Median Arcuate Ligament Syndrome：MALS）が注目されており、腹部超音波検査による腹腔動脈血流速度の測定が診断の補助として行われています。当院では、慢性腹痛のお子さんに対して、腹腔動脈血流速度を日常診療の中で評価しています。

そこで本研究では、腹腔動脈血流速度を測定し、MALS などの器質的疾患を認めず FAPDs と診断された患者さんを対象として、腹部症状と腹腔動脈血流との関連について検討します。本研究で得られる知見は、FAPDs の病態解明や診断・治療の向上につながる有益な情報になると考えています。

研究期間は採用日～2031 年 3 月 31 日を予定としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

該当する患者のカルテに記載されたカルテに記載された腹部超音波検査の腹腔動脈血流速度の変化とその臨床経過、転帰の確認をおこないます。

個人情報（プライバシー）は、厳重に保護します。研究実施中を含む期間における保管の責任者は研究責任者とします。紙の資料は鍵のかかるキャビネットに保管します。データの場合は、パスワードをかけ、研究目的以外には使用しない。研究期間の終了とともに、対応表を破棄します。小児外科医局室内のネットとつながっていないコンピューターへのデータも匿名化を行い、キーファイルは暗号化し、パスワードをかけ別の場所に保管します。情報管理責任者は、研究責任者とします。

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

研究機関の名称及び研究機関の長

研究機関の名称：藤田医科大学

研究機関の長：学長 岩田仲生

本学の研究責任者：

藤田医科大学 小児外科 教授 井上 幹大

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 小児外科

担当者：渡邊 俊介、井上 幹大

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9247

e-mail:watanabe@fujita-hu.ac.jp